



平成30年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年9月20日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クスリのアオキホールディングス

コード番号 3549 URL http://www.kusuri-aoki-hd.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 青木宏憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員グループ管理部門担当 (氏名) 八幡亮一 TEL 076-274-6115

四半期報告書提出予定日 平成29年9月29日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績（平成29年5月21日～平成29年8月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	54,410	-	3,275	-	3,435	-	2,344	-
29年5月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 2,355百万円 (-%) 29年5月期第1四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	74.53	74.45
29年5月期第1四半期	-	-

(注) 平成29年5月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成29年5月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。(参考) 完全子会社である株式会社クスリのアオキ(以下「クスリのアオキ」という)の平成29年5月期第1四半期業績は、売上高46,579百万円、営業利益3,033百万円、経常利益3,083百万円、四半期純利益2,248百万円であります。当社グループの平成30年5月期第1四半期連結業績は、クスリのアオキ平成29年5月期第1四半期業績に対して、売上高16.8%増、営業利益8.0%増、経常利益11.4%増、親会社株主に帰属する四半期純利益4.3%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	98,721	38,014	38.4
29年5月期	95,389	35,838	37.5

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 37,947百万円 29年5月期 35,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	-	-	-	7.00	7.00
30年5月期	-	-	-	-	-
30年5月期(予想)	-	8.00	-	8.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成29年5月期第2四半期末の配当金については、クスリのアオキが7円の配当を実施しております。

3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年5月21日～平成30年5月20日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	106,455	—	5,816	—	6,107	—	4,337	—	137.84
通期	220,000	16.6	10,922	2.3	11,500	3.5	8,200	0.2	260.64

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は平成29年5月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、第2四半期（累計）の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 3. 通期の対前期増減率の算定に用いた平成29年5月期の数値は、当社6か月、クスリのアオキ12か月を合算した金額となっております。詳細は添付資料2ページ、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期1Q	31,478,560株	29年5月期	31,460,560株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	52株	29年5月期	52株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期1Q	31,465,021株	29年5月期1Q	3,999,968株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	3
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は平成28年11月21日付で当社を株式交換完全親会社、クスリのアオキを株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。本株式交換は、企業結合会計上の逆取得に該当し、当社が被取得企業、クスリのアオキが取得企業となるため、連結財務諸表については、当社の株式交換直前の財務諸表上の資産・負債を時価評価した上で、識別可能な資産・負債をクスリのアオキの貸借対照表に引き継いでおります。

これにより、平成29年5月期（平成28年5月21日から平成29年5月20日まで）の連結業績は、クスリのアオキの第2四半期累計期間（平成28年5月21日から平成28年11月20日まで）の業績に、株式交換後の当社グループの平成28年11月21日から平成29年5月20日までの連結業績を合算した金額となっております。

また、当社は平成29年5月期第3四半期連結会計期間より連結決算へ移行いたしました。このため、平成29年5月期第1四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表を作成していないことから、「(1) 経営成績に関する説明」の対前年同四半期との比較は省略し、参考情報として、完全子会社であるクスリのアオキの前年個別業績との比較数値を記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年5月21日～平成29年8月20日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和策等を背景とした企業収益の改善や雇用環境の改善等が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、節約志向により個人消費の回復は鈍く、また、新興国の景気の減速懸念や、地政学リスクの高まり等の国際情勢により、景気の先行については引き続き不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、激しい出店競争や価格競争に加え、M&Aによる寡占化や他業種からの参入により厳しさが増し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「健康と美と衛生を通じて、社会から期待される企業作りを目指します。」という理念の下、地域のお客様に支持される売場づくりに努めるとともに、既存店の活性化に注力し、5店舗の全面改装を実施いたしました。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを、新潟県に1店舗、埼玉県に1店舗、栃木県に1店舗、岐阜県に3店舗、愛知県に2店舗の合計8店舗の出店を行い、さらなるドミナント化を推進いたしました。

また、ドラッグストア併設調剤薬局を、新潟県に1薬局、栃木県に1薬局、岐阜県に1薬局、奈良県に1薬局、京都府に1薬局の合計5薬局を新規に開設いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア388店舗（内調剤薬局併設179店舗）、調剤専門薬局6店舗の合計394店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高544億10百万円（クスリのアオキの前年個別業績比16.8%増）、営業利益32億75百万円（同8.0%増）、経常利益34億35百万円（同11.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益23億44百万円（同4.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は987億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億32百万円増加いたしました。主な増加要因は、現金及び預金の増加24億36百万円、新規出店等による有形固定資産の増加20億4百万円によるものであり、主な減少要因は未収入金の減少10億14百万円によるものです。

負債合計は、607億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億56百万円増加いたしました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加17億74百万円、ポイント引当金の増加2億13百万円によるものであり、主な減少要因は、長期借入金の減少8億98百万円、賞与引当金の減少6億22百万円によるものであります。

純資産合計は380億14百万円となり、前連結会計年度に比べ21億75百万円増加いたしました。また、自己資本比率は38.4%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、現時点におきましては、平成29年6月29日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,525	8,961
売掛金	2,351	2,126
商品	22,234	22,185
未収入金	5,731	4,716
その他	4,524	4,431
貸倒引当金	△31	△27
流動資産合計	41,334	42,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,408	39,093
機械装置及び運搬具（純額）	137	149
土地	883	883
リース資産（純額）	2,595	2,668
建設仮勘定	1,487	2,760
その他（純額）	2,752	2,713
有形固定資産合計	46,263	48,268
無形固定資産	832	837
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,889	4,039
その他	3,068	3,181
投資その他の資産合計	6,958	7,221
固定資産合計	54,054	56,327
資産合計	95,389	98,721

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,838	28,612
1年内返済予定の長期借入金	3,683	3,641
未払法人税等	1,347	1,068
賞与引当金	1,061	438
ポイント引当金	2,597	2,810
その他	5,808	6,675
流動負債合計	41,336	43,247
固定負債		
長期借入金	13,552	12,653
役員退職慰労引当金	125	127
リース債務	1,946	2,014
資産除去債務	2,565	2,637
その他	25	26
固定負債合計	18,214	17,460
負債合計	59,551	60,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,030	1,050
資本剰余金	2,038	2,058
利益剰余金	32,627	34,752
自己株式	△0	△0
株主資本合計	35,695	37,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74	85
その他の包括利益累計額合計	74	85
新株予約権	67	66
純資産合計	35,838	38,014
負債純資産合計	95,389	98,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年8月20日)
売上高	54,410
売上原価	39,460
売上総利益	14,950
販売費及び一般管理費	11,674
営業利益	3,275
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	1
受取手数料	52
賃貸収入	12
固定資産受贈益	9
消費税等差額	91
貸倒引当金戻入額	4
その他	8
営業外収益合計	187
営業外費用	
支払利息	16
賃貸収入原価	8
その他	2
営業外費用合計	28
経常利益	3,435
特別損失	
減損損失	1
特別損失合計	1
税金等調整前四半期純利益	3,433
法人税、住民税及び事業税	966
法人税等調整額	122
法人税等合計	1,088
四半期純利益	2,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,344

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年8月20日)
四半期純利益	2,344
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	10
その他の包括利益合計	10
四半期包括利益	2,355
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,355
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは医薬品・化粧品等の小売事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

当社グループは、医薬品・化粧品等の小売業という単一セグメントであるため、仕入実績は商品部門別に、販売実績は商品部門別及び地域別に記載しております。

① 仕入実績

当第1四半期連結累計期間の仕入実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年5月21日 至 平成29年8月20日)	
	金額（百万円）	構成比（%）
ヘルス	3,658	9.2
ビューティ	6,836	17.2
ライフ	26,053	65.4
調剤	3,271	8.2
合計	39,819	100.0

(注) 1. 上記の金額は、物流益等（店舗への直送受託収入から直送委託費用を控除した物流益及び発注にかかるデータ収入）を控除しておりません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. ヘルス、ビューティ、ライフ、調剤の主な取扱品目は以下のとおりであります。

ヘルス …医薬品、ビタミンサプリメントやダイエットサプリメント等の健康食品、救急用品や健康管理用品等の医療用品

ビューティ…カウンセリング化粧品、洗顔料等のフェイスクア商品、ボディソープ等のボディケア商品、シャンプー等のヘアケア商品、歯磨等のオーラルケア商品

ライフ …菓子・飲料等の食品、オムツ等のベビー関連商品、介護用品、生理用品、洗剤、家庭用品、ペットフード、靴下や肌着等の衣料用品、家電用品

調剤 …薬局にて処方する医療用医薬品

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年5月21日 至 平成29年8月20日)	
	金額（百万円）	構成比（%）
ヘルス	6,311	11.6
ビューティ	9,969	18.3
ライフ	33,213	61.1
調剤	4,915	9.0
合計	54,410	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 地域別販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

区分	店舗数（店）	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年5月21日 至 平成29年8月20日)	
		金額（百万円）	構成比（%）
北陸	176	28,803	52.9
信越	68	8,903	16.4
北関東	68	7,200	13.2
東海・近畿	82	9,503	17.5
合計	394	54,410	100.0

(注) 1. 店舗数は当第1四半期連結会計期間末現在のものです。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。